

授業科目、担当者（実務経験のある教員等を含む）及び時間数の一覧

2020年度

学校名	国際ペット専門学校金沢
学科名	イオンペット社員養成学科（2年）

区分	科目名	教員名	実務経験の有無	1年次	2年次	合計（単位時間）
トリマー 2年 コース	猫学	藤田	○		30	30
	ドッグエステ学	藤田	○		30	30
	グルーミング理論Ⅱ	藤田	○		30	30
	動物看護基礎学Ⅱ	横山	○		30	30
	グルーミング・トリミング実習Ⅱ	宮越	○		960	960
	イオンペット基礎	宮腰	○		30	30
	イオンロールプレイングⅡ	加瀬	○		60	60
動物看護 2年 コース	グルーミング・トリミング実習Ⅱ	藤田	○		240	240
	動物臨床検査学実習	岡田	○		90	90
	動物外科看護学実習	中山	○		90	90
	動物形態機能学Ⅱ	岡田	○		60	60
	動物臨床検査学	岡田	○		60	60
	動物薬理学	中山	○		60	60
	動物外科看護学	中山	○		60	60
	動物臨床看護学各論	岡田	○		120	120
	公衆衛生学	八木	○		60	60
	動物病理学	岡田	○		30	30
	動物医療コミュニケーション	斎田	○		30	30
	動物看護学概論	清水	○		60	60
	動物臨床看護学総論	斎田	○		30	30
	動物臨床看護学実習	斎田	○		30	30
	産業動物学	山口	○		45	45
	野生動物学	山口	○		30	30
	実験動物学	山口	○		15	15
動物福祉・倫理	清水	○		30	30	
統一試験対策	久木	○		60	60	
小計（単位時間）		トリマー			1170	1170
		看護			1200	1200

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
猫学		イオンペット社員養成学科 トリマーコース/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
猫の歴史、生態、習性を理解し、グルーミングや管理などを行う際に必要となる猫の扱い方を習得する。爪切り、シャンピング、ドライイング、カットなどのグルーミング方法、注意点を学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 爪切り、シャンピング、ドライイングなどのグルーミングができるようになる。 ・ 猫のしつけの必要性、食事などについて説明できる。 ・ インターナショナルキャットクラブ認定 キャットグルーマーC級の取得。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして9年間ペットサロンに勤務（現在に至る）		
時間外に必要な学修				
授業の前後に予習復習をして、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	猫の種類を知る 猫の歴史(世界と日本)	人気のある猫種、大型猫種、珍しい猫種について学修し、理解する。祖先や猫がどのようにして人間と関わりあうようになったのかを学修する。		
2	体の各部について	爪、肉球、歯、舌、目、耳、性別、発情と交配、出産について学習する。		
3	グルーミング①	グルーミングの必要性、目的、効果を学修し、理解する。猫という動物の難しさを学修する。猫がグルーミングになれるための方法を考え学修する。		
4	グルーミング②	グルーミングの基本的な手順を理解し、年齢別のグルーミング方法、注意点を学修する。		
5	行動と仕草	猫の行動や仕草にはどのような意味があるのかを学修し、理解する。		
6	発生スタイル 種類（長毛、短毛別）	3つの発生スタイルを学修する。 長毛、短毛、両方を持ち合わせている猫種を学修する。		
7	種類（ボディタイプ別）	6つの体型による分類方法、その特徴を学修し、理解する。		
8	カラーパターン	どのように色が決まるのかを理解し、大別した5つのパターンを学修する。		
9	飼育について	猫の生活習慣、トイレ、遊び、室内飼いの必要性を学修する。		
10	食事と栄養 栄養性の病気	猫が必要な栄養素を学修し、フードの種類を理解する。猫に多い栄養性の病気の原因や症状などを学修する。		
11	主な病気と対応	ウイルスによる病気の原因、症状、予防法を学修する。		
12	しつけ	食事、トイレ、爪とぎ、グルーミングにおけるしつけの必要性を学修する。		

回	テーマ	内 容		
13	繁殖	発情、交配、妊娠、出産の際に見られる行動、注意点などを学修する。		
14	多頭飼い	多頭飼いの注意点を学修し、お客様に説明ができるようになる。		
15	年齢別の扱い方	子猫、成猫、高齢猫の扱い方、注意点、特徴などを習得する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
キャットグルーマー教本		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグエステ学		イオンペット社員養成学科 トリマーコース/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
<p>飼い主様とペットのためにペットエステを施術することの必要性やメリットを学び、ペットエステとはどんなものか飼い主様に伝えられるようにする。 エステティックの視点から、皮膚・被毛にとって正しい製品を選択するために1年時に学習した皮膚や被毛の構造、シャンプー・コンディショナーの目的などを復習する。 その他、多くのトリミングサロンで施術されているペットエステティックや使用する製品の使用方法、注意事項なども合わせて学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・トリミング+αになるように、メニューの知識、施術方法を説明できるようになる ・使用する製品を理解し、飼い主様に説明できるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院でトリマーとして勤務（現在に至る）		
時間外に必要な学修				
授業の前後に予習復習をして、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	ペットエステとは	ペットエステティックとはどんなものか、施術することでどんなメリットが生まれるのかを学修する		
2	皮膚・被毛の構造、役割	シャンプー理論を学ぶ上で皮膚・被毛の構造、役割を知ることが大切なので、1年生の時の復習する		
3	シャンプー理論①	ペットにとって適正なシャンプーやコンディショナーを選ぶために、シャンプーの目的（1年次の復習）、人間用との違い、良いシャンプーとは、汚れの成分、シャンプーをしすぎると起こる弊害についてを学修する		
4	シャンプー理論② コンディショナー理論	前回の続き。ペットにとって適正なシャンプーやコンディショナーを選ぶために、pH（アルカリ性か酸性かを示す値）とは、人間と犬のpHの違い、シャンプーのメカニズム、界面活性剤（水（シャワー）と油（汚れ）を混ぜるために必要なもの）の種類、コンディショナーについてを学修する		
5	肉球ケア	飼い主様に肉球ケアの必要性をアドバイスするためにも、肉球ケアの必要性、肉球の構造・役割、起こりやすいトラブル、ケアの方法、ケア製品についてを学修する		
6	肉球ケア（実習） オーラルケア（歯みがき）	<p>実習を行うことで施術のイメージを持つ。 行う前の足裏バリカンの必要性、製品の使用方法の確認、マッサージ、簡単なツボを体験し学修する。</p> <p>トリミングのオプションとしてオーラルケアを行っているお店が増えているので、歯の構造、歯石の危険性、口腔内の異常、ケア製品の紹介、ゼオライト（ケア商品の一種）についてを学修する</p>		
7	泥パック（トリートメント）	ペットの被毛を美しく維持するためにも、トリートメントの種類について学修する。多くのお店でも取り入れている泥パックについて説明できるよう、泥の特徴、目的と効果、製品の使用方法と施術方法の説明、注意事項についてを学修する		

回	テーマ	内 容		
8	泥パック（トリートメント）実習	実習を行うことで施術のイメージを持つ。 泥の目的と効果、施術方法と注意事項の確認は重要なことなので再度復習し実習を通して学修する		
9	ハーブパック（トリートメント）	お店での人気メニューのハーブパックについて説明できるよう、ハーブパックの特徴、目的と効果、使用方法と施術方法、メニューのバリエーションの紹介、注意事項についてを学修する		
10	ハーブパック（トリートメント）実習	実習を行うことで施術のイメージを持つ。 ハーブパックの目的と効果、施術方法と注意事項の確認重要なことなので再度復習し実習を通して学修する		
11	アロマについて①	ペットにも癒しを与えたいと考える飼い主様のために、癒し効果のあるアロマの説明できるよう、犬に対するアロマの効果、使用する際の注意点、犬に危険なアロマの例について学修する。		
12	アロマについて② ドッグマッサージ	前回の続き。使用する際の注意事項、Pet Esthe®アロマセラピーシステムと製品について、施術方法について学修する また、アロマにマッサージを取り入れるとより効果的なので、ドッグマッサージのやり方と簡単な例の説明も合わせて学修する。		
13	カラーリングについて①（ビビットカラー（おしゃれ染め））	トリミングのオプションとしてカラーリングを希望する飼い主様のために、カラー剤の種類、人間用のカラー剤との違い、使用してはいけない理由、レストレーション（若返り）との違い、施術方法、注意事項について学修する		
14	カラーリングについて②（カラーレストレーション（白髪染め）） POP作り①	ペットも人と同じように毛色が退色するが、カラーリングによって見た目の若返りは可能。そのために、ビビットカラーとの違い、濃淡の入れ方、色の選択の仕方について学修する 1年間学んだことを踏まえて「飼い主様にご提案するため」というテーマでPOPを作成し復習をする		
15	POP作り②	前回の続き。1年間学んだことを踏まえて「飼い主様にご提案するため」というテーマでPOPを作成し復習をする		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
PowerPoint 実習で使用する教材		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング理論Ⅱ		イオンペット社員養成学科 トリマーコース/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
グルーミング、トリミングを行う際に、それぞれの犬種のスタンダード(その犬種の理想の体の構成)や理想の骨格構成をイラストや教科書を使用して学修し、その知識を実際のトリミングに反映出来る様に、イラストを描く授業や粘土を使った演習なども取り入れながら、それぞれの犬種のカット方法を学修させる。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・プードルのケネル&ラムクリップの理想の形をイラストで描けるようになる。 ・展開図を描くことで立体的なとらえ方が出来る様になり、実際のカットに反映出来る様になる。 ・プードルのラムクリップ以外のカット方法を実際のカットの際に反映出来る様になる。 ・ブラックング犬種(ミニチュア・シュナウザー、テリア種) スイニング犬種(アメリカン・コッカー・スパニエル)のカット方法を実際のカットに反映出来る様になる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして、9年間トリミングサロンに勤務		
時間外に必要な学修				
テキストの該当箇所事前に目を通し、予習を行っておく。				
回	テーマ	内容		
1	プードルのスタンダード	1年次の復習もかねて、プードルのスタンダードを理解しカットで理想体型に近づける為の知識を習得。		
2	ケネル&ラムクリップの犬体図 プードルの骨格構成	犬体図を描くことで、理想のバランスを習得し、骨格構成を描く事で、理想の骨格の角度、長さなどを習得する。		
3	ケネル&ラムクリップの展開図 (側望、上望)	前回作成した犬体図を基に、上から見た(展開図)を作成し、ラムクリップのシルエットを習得していく。		
4	ケネル&ラムクリップの展開図 (前望、後望)	前回の続きで、前望からの絵、後望からの絵を描き、いろいろな視点からの形を習得していく。		
5	プードルのJKC公認ペットクリップ	JKC公認ペットクリップ(6種類)の大まかなカット方法と、特徴を学んでいく。		
6	ラムクリップ実寸大粘土 (土台作り 後駆)	粘土作りに必要な土台の後駆部分の作成を行っていく。アンギュレーションの角度に気をつけながら作成していく。		
7	ラムクリップ実寸大粘土 (土台作り 前駆)	粘土作りに必要な土台の後駆部分の作成を行っていく。前駆、頸など作成し完成を目指す。		
8	ラムクリップ実寸大粘土 (粘土作り)	前回作成した土台にラムクリップの形に粘土をつけていき、完成を目指す。粘土を作る事で、実際の形や大きさをリアルに体感できる。		
9	ラムクリップ実寸大粘土 (粘土作り②) 応用編	反復する事で前回よりも形や大きさだけでなく、全体のバランスも意識しながら作成していく。		
10	パジャマ・ダッチ・クリップ トリミング方法	パジャマ・ダッチ・クリップのクリッピング方法や、パーツ毎の作り方などを理解する。		
11	ボレロ・マンハッタン・クリップ トリミング方法	ボレロ・マンハッタン・クリップのクリッピング方法やブレスレットの作り方などを理解する。		
12	ファースト・コンチネンタル・クリップ トリミング方法	ファースト・コンチネンタル・クリップの後駆のクリッピング方法や、ロゼットの作り方、ブレスの作り方、他のカットとは違うボディの作り方などを理解する。		

回	テーマ	内 容		
13	プードルのJKC公認ショークリップ	JKC公認ショークリップ(4種類)の大まかな特徴やトリミング方法などを理解する。		
14	パピークリップ・パピークリップ セカンド トリミング方法	期末試験の見直しを行ったのち、2種類のトリミング方法やわかりにくいカットの細かい違いなどを理解する。		
15	まとめ	今まで学習してきた事の復習もかねて、小テストを行い、期末試験の対策もあわせて行っていく。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ドッググルーミングマニュアル (JKC) 最新犬種図鑑 (インターズー) 実寸大粘土(油粘土、ペットボトル2ℓ ビニールテープ、割りばし)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護基礎学Ⅱ		イオンペット社員養成学科 トリマーコース/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	横山 歩
授業の概要				
トリマー・トレーナーに必要とされる基本的な動物の病気についての基礎知識(人獣共通感染症、外耳炎、結膜炎、甲状腺機能亢進症など)や薬用シャンプーの基礎知識(正しい薬浴の方法、薬剤の種類・効能など)を学修し習得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動物の病気(外耳炎、白内障、歯周病など)を学ぶことでトリミング時や店舗でのお預かりの際に動物の体の異常に気付くことができる。 ・病気や体の異常を発見した際に飼い主様に正しいアドバイスや対処を行うことができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院で勤務(現在に至る)		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容や確認テストなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物看護学を学ぶ理由	動物看護学(なぜ動物看護を学ぶのか、など)の必要性を学修し理解する		
2	全身チェック	全身状態の確認、BCS、ホルモンに関する病気について学修し理解する		
3	体調チェック	体調チェック(脈拍数、呼吸状態、可視粘膜の色調など)、エマージェンシーと応急処置の方法を学修し理解する		
4	ズノーシス	代表的な人獣共通感染症を学び寄生虫(外部寄生虫・内部寄生虫)の判別の方法を学修し理解する		
5	皮膚の病気	皮膚の構造・働き、主な皮膚の病気(細菌性皮膚炎、疥癬症、皮膚糸状菌など)に対する対処法を学修し理解する		
6	耳の病気	耳の構造・働き、主な耳の病気(細菌性外耳炎、マラセチア性外耳炎など)を学び耳洗浄実技とイヤークリーナーの種類、トリミング時の正しい対処法など学修し理解する		
7	眼の病気	眼の構造・働き、主な眼の病気(白内障、結膜炎、緑内障など)を学びトリミング時の注意点を学修し理解する		
8	鼻と口の病気	口鼻腔の構造・働き、主な鼻と口の病気(口鼻瘻管、歯周病、歯石など)とそれに対する注意点を学びデンタルケアの実技法・デンタルケア用品を学修し理解する		
9	おしり・お腹まわりの病気	腹部・尾部周囲の構造、主なおしり、お腹まわりの病気(乳腺腫瘍、肛門周囲腺腫、会陰ヘルニアなど)を学びトリミング時の注意点を学修し理解する		
10	足先・膝・腰まわりの病気	主な足先、膝、腰まわりの病気(指間炎、膝蓋骨脱臼、股関節形成不全など)を学びトリミング時の注意点について学修し理解する		
11	薬用シャンプーの基礎知識①	薬用シャンプーの種類や成分、シャンプー療法と注意点を学修し理解する		

回	テーマ	内 容		
1 2	薬用シャンプーの基礎知識②	薬用シャンプーを用いたシャンプー療法の実技を行うことで正しい薬浴の知識を学修し理解する		
1 3	ワクチンの基礎知識	ワクチンと予防できる感染症（狂犬病、パルボ、ジステンパーなど）について学びワクチンの必要性を学修し理解する		
1 4	トラブル解決	ケース別（出血させてしまった、落としてしまったなど）対応や止血の方法を学び包帯法を学修し理解する		
1 5	高齢・幼齢犬の扱い方	トリミング時において高齢犬、幼齢犬を扱う際の注意点について学修し理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
わかる犬の病気 interzoo		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング・トリミング 実習Ⅱ		イオンペット社員養成学科 トリマーコース/2年	2020/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	480回	960単位時間	必須	宮腰 隼人
授業の概要				
イオンペット社員トリマースタッフとして即戦力となるグルーミング、カット技術を習得する。				
授業終了時の到達目標				
安全ルールを遵守したグルーミング、カットの習得 イオンペットが定めるトイプードルテディベアカットの習得 定められた時間内にトリミングを終わらせるタイムスケジュールの組み立て方の学習 Dランクスキル認定試験を合格できる技術の習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてトリミングサロンに勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること				
回	テーマ	内容		
1~ 32	イオンペットが定める安全ルールを遵守しグルーミングを中心にテディベアカットスタイルの作り方	犬の保定の仕方、落下防止のリードの使い方、シャンプーの仕方、ドライの仕方、犬の負担の少ない扱い方を学習し、決められた時間(75分~80分以内)に施術を行うための技術を身に付ける。		
33~ 56	イオンペットが定める安全ルールを遵守し、ボディバリカン、尾のカットを中心にテディベアカットスタイルの作り方	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で施術を行い、イオンペットが定めるトイプードルのテディベアカットのボディカット(バリカンを用いる)、尻尾のカット(シザーを用いる)の仕方を学習し、目標施術時間をそれぞれボディカットは10分、尾のカットは5分で施術できる技術を身に付ける。		
57~ 88	イオンペットが定める安全ルールを遵守し、足回り、後肢カットを中心にテディベアカットスタイルの作り方	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で施術を行い、イオンペットが定めるトイプードルのテディベアカットの足回りカット(シザー用いる)、後肢カット(シザーを用いる)の仕方を学習し、目標施術時間をそれぞれ足回りカットは10分、後肢カットは30分で施術ができる技術を身に付ける。		
89~ 132	イオンペットが定める安全ルールを遵守し、前肢カット、前胸カットを中心にテディベアカットスタイルの作り方の学習	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で施術を行い、イオンペットが定めるトイプードルのテディベアカットの前肢カット(シザー用いる)、前胸カット(シザーを用いる)の仕方を学習し、目標施術時間をそれぞれ前肢カットは30分、前胸カットは5分で施術ができる技術を身に付ける。		
133 ~ 180	イオンペットが定める安全ルールを遵守し、顔カットを中心にテディベアカットスタイルの作り方の学習	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で施術を行い、イオンペットが定めるトイプードルのテディベアカットの顔カット(シザーを用いる)を30分以内に施術をするための技術を身に付けカット作業を120分で行う事ができる技術を身に付ける。		

回	テーマ	内 容		
181 ～ 184	イオンペット株式会社規定のトリマーカットランクDランク模擬試験の実施	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で、イオンペットが定めるトイブードルのテディベアカットをグルーミング作業を75分、カット作業を120分以内に施術を完了し、イオンペット株式会社が在籍のテクニカルマネージャーの審査のもと、規定のチェック項目すべてクリアすることを目標とする。		
185 ～ 224	イオンペットが定める安全ルールを遵守し、Dランク模擬試験で出た課題対策実習の実施	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で、イオンペットが定めるトイブードルのテディベアカットをグルーミング作業を70分、カット作業を100分以内に施術を完了し、四肢の丸みを出すための角取り方や顔や口回りの左右の形がバランス取れる技術を身に付ける。		
225 ～ 256	イオンペットが定める安全ルールを遵守し、施術時間の短縮する為の技術の学習	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で施術を行い、イオンペットが定めるトイブードルのテディベアカットをグルーミング作業を70分、カット作業を100分以内に行う事が出来るようにハサミの動かし方を学習する。		
257 ～ 260	イオンペット株式会社規定のトリマーカットランクDランク模擬試験の実施	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で、イオンペットが定めるトイブードルのテディベアカットをグルーミング作業を65分、カット作業を100分以内に施術を完了し、イオンペット株式会社が在籍のテクニカルマネージャーの審査のもと、規定のチェック項目すべてクリアすることを目標とする。		
313 ～ 396	イオンペットが定める安全ルールを遵守しつつ、施術時間の短縮、学生毎に苦手な箇所の施術方法の学習	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で、イオンペットが定めるトイブードルのテディベアカット、Dランク認定試験に合格するための課題対策を実施する。		
397 ～ 400	イオンペット株式会社規定のトリマーカットDランク認定試験の実施	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で、イオンペットが定めるトイブードルのテディベアカットをグルーミング作業を60分、カット作業を90分以内に施術を完了し、イオンペット株式会社が在籍のテクニカルマネージャーの審査のもと、規定のチェック項目すべてクリアすることを目標とする。		
401 ～ 480	イオンペットが定める安全ルールを遵守しつつ、トイブードル以外の指定短頭種の標準カットの学習	イオンペットが定める安全ルールを遵守した上で、イオンペットが定めるシュナウザー・シーズー・マルチーズの3犬種の標準カットを習得するための実習を行う。施術時間もシャンプー60分。カット90分を目標に施術できる技術を身に付ける。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
イオンペットカットマニュアル (テディベア/SZ・マルチーズ/シュナウザー)(イオンペット株式会社) Petemo料金表(イオンペット株式会社)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
イオンペット基礎Ⅱ		イオンペット社員養成学科 トリマーコース/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮腰 隼人
授業の概要				
イオンペット社員として勤務するためにイオンペットが行っているサービスや実習に必要なカットマニュアル、イオンペットで働く上で遵守すべき社外秘を学習する。				
到達目標				
イオンペットカットマニュアルの再現 イオンペットが行っているサービスがどのような物があるか説明できるようになる トリミング実習を、イオンペットの安全ルールを遵守しながら行えるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットショップに勤務。		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること				
回	テーマ	内容		
1	1年間で学ぶことについて	イオンペット社員養成学科2年次に学ぶことの説明、2年次の目標を全員で共有する。 教材の使用、社外秘についての注意点及び学外店舗実習について講師が実演を行う。実演を見ながらメモを取り、保定方法、安全ルール、マニュアルに沿ったカットを学習する。実習中に怪我をさせた場合の対応方法、提出書類の共有を行う。		
2	イオンペットカットマニュアルと安全ルールの学習(テディベア編)	カットマニュアルを用いて、前回の実演の復習、質疑応答を行い、不明点を無くし実習に臨めるようにする。		
3	イオンペットカットマニュアルの復習(テディベア編)	Dランク認定試験合格及び入社後に必須の知識になるので、間違えた範囲を復習し学習する。		
4	イオンペットカットマニュアルの小テスト	イオンペットPetemoの料金表を配布し、料金表記載内容の解説や料金表に記載のないオプションメニューを解説し、学習する。		
5	イオンペットサービスの学習(料金表・オプションサービスも含む)	nakayoshiDIARYとイオンペットWAONやデジぼちっや各種クーポンの解説しイオンペットのサービスを学習する。		
6	イオンペットサービスの学習(nakayoshiDIARY・WAONとイオンペットWAON・クーポンの使用について)	法令遵守については1年次で解説済みの為、復習及びプライバシーポリシーについて解説し、学習する。		
7	売り場でのルールの学習(法令遵守・プライバシーポリシー・安全ルールなど)	カットマニュアルを用いてイオンペットのシュナウザーカットのボディを中心に解説し学習する。 質疑応答を行い不明点を無くして実習に臨めるようにする。		
8	イオンペットカットマニュアルの学習(シュナウザー編)	カットマニュアルを用いてイオンペットのシュナウザーカットの顔、耳のカットを中心として解説し学習する。 質疑応答を行い不明点を無くして実習に臨めるようにする。		
9	イオンペットカットマニュアルの学習(シュナウザー編続き)	カットマニュアルを用いてイオンペットのSZ・マルチーズのボディを中心に解説し学習する。 質疑応答を行い不明点を無くして実習に臨めるようにする。		
10	イオンペットカットマニュアルの学習(SZ・マルチーズ編)	カットマニュアルを用いてイオンペットのSZ・マルチーズの顔、耳カットを中心に解説し学習する。 質疑応答を行い不明点を無くして実習に臨めるようにする。		
11	イオンペットカットマニュアルの学習(SZ・マルチーズ編続き)	カットマニュアルを用いてイオンペットのSZ・マルチーズの顔、耳カットを中心に解説し学習する。 質疑応答を行い不明点を無くして実習に臨めるようにする。		

回	テーマ	内 容		
1 2	課題自習	Dランク中間試験を予定の為、残っている学生は犬体図の作成、マニュアルの復習等、課題自習を行いテストの対策をする。		
1 3	小テスト(カットマニュアル編)	カットマニュアルの小テストを行う。40分程度でできる内容のものとする。終了後一旦回収して点数集計後、学生へ返却をし、間違いに関して質問や自己学習の為に使用する。		
1 4	小テスト(自社サービス編)	イオンペットの自社サービステストを実施する 中間模擬にてベーシックを合格した場合、満点でEランクスキル保持になる為合格を目標とする。		
1 5	前期テスト対策	テスト対策課題の作成を行い、入社後必要になるサービスの知識、カットマニュアルを総復習する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
イオンペットカットマニュアル (テディベア/SZ・マルチーズ/シュナウザー) (イオンペット株式会社) Petemo料金表(イオンペット株式会社)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
イオンロールプレイングⅡ		イオンペット社員養成学科 トリマーコース/2年	2020/通年	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	加瀬 隼人
授業の概要				
イオンペットでの電話予約、受付の対応方法を学習し、店舗でお客様に対応出来るようにする。				
授業終了時の到達目標				
イオンペットの接客対応法を理解し実践を通じての習得 お客様の要望に合ったサービス、ペットの体を考慮したサービスを提案力の習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして6年間イオンペット店舗で勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること				
回	テーマ	内容		
1	1年間で学ぶことについて	年間を通しての目標の共有と事前課題について、今年度の授業の流れを説明をし提案型サービスが出来るようになるという目標を共有する。		
2	イオンペット基礎ディベアカット実演	イオンペット基礎の時間と合わせ講師実演を行い、イオンペットカットマニュアルを学習する。		
3	電話予約の流れについて (新規・既存トリミング予約基礎編)	教務がトリミング電話予約対応の実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習を行い対応方法を学習する。		
4	電話予約の流れについて (新規・既存トリミング予約応用編)	前回とは別のパターン（皮膚が弱い、赤みがあるなど）でトリミングの電話対応練習を行い実際に起こりうる状況にも対応できるように学習する。		
5	トリミング電話予約小テスト	小テストを行い理解度を確認する。聞き忘れやパターン別にわからない箇所を復習する。質疑応答を行い、不明点や不安な箇所、言い回しを学習し、実践に臨めるようにする。		
6	電話予約の流れについて (新規・既存ホテル予約基礎編)	教務がホテル電話予約対応の実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習を行い対応方法を学習する。		
7	電話予約の流れについて (新規・既存ホテル予約応用編)	前回とは別のパターン（初めての宿泊、別の犬が苦手など）でホテルの電話対応練習を行い実際に起こりうる状況にも対応できるように学習する。		
8	ホテル電話予約小テスト	小テストを行い理解度を確認する。聞き忘れやパターン別にわからない箇所を復習する。質疑応答を行い、不明点や不安な箇所、言い回しを学習し、実践に臨めるようにする。		
9	電子カルテの操作方法を習得する	電子カルテの予約、受付方法を学習する。店舗でも活用が義務付けられているので、接客を行いながら操作できるようにする。		
10~ 11	受付の流れについて (新規・既存トリミング受付基礎編)	教務がトリミング受付対応の実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習をし受付の対応方法を学習する。		

回	テーマ	内 容		
12	お返し対応の流れについて	教務がお返しの実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習をし、対応方法を学習する。		
13	ロープレ実習復習	これまで学んだ電話予約・トリミング受付の接客対応を電話予約から受付、お返しまで通して実践形式で行い、聞き忘れなどないように復習する。		
14～ 15	受付の流れについて (新規・既存ホテル受付基礎編)	教務がホテル受付対応の実演を行い、質疑応答の後、学生二人一組で練習をし対応方法を学習する。		
16	前期期末テスト対策	テスト対策課題を行い、間違えた箇所を復習し、実践で行えるように学習する。		
17	お客さまから信頼をされるスタッフになるために	前期で学んだ接客と自社サービスを元に、お客さまから信頼されるスタッフになるためにどうしたらいいのかを個人、グループディスカッションで考え共有する。		
18	シニア犬・指定短頭種の受け入れについて	シニア犬・指定短頭種の受付時の注意点、トリミング、ホテルでの預かり時のリスクの説明方法を学習する。		
19	提案型接客について	提案型接客の定義の解説及び自社サービスの復習の実施。オプションメニューの勧めかたを個人、グループディスカッションで考え共有する。		
20	提案型接客について(受付基礎編)	もつれ・毛玉、病気・怪我などパターンを変えてお客様、ペットに合ったサービスを提案出来るよう学習する。		
22	提案型接客について(実践編)	実践同様ペットの事前情報がない状態で受付を始める。クジで複数のパターンを作成し、引いたパターンに合ったサービスをその場で提案出来るように学習する。		
23	提案型接客小テスト	小テストを行い理解度を確認する。聞き忘れやパターン別にわからない箇所を復習する。質疑応答を行い、不明点や不安な箇所、言い回しを学習し、実践に臨めるようにする。		
24	怪我をさせてしまった場合のお返しについて(イオンでの方法)	怪我をさせてしまった場合の対応及び、お返し対応について学習し、起こしてしまった際に慌てずに対応出来るようにする。		
25	ロープレ実技テストの概要説明及び接客マナー復習	ロープレ実技テストの概要説明及び、接客マナー、敬語の復習をする。		
26～ 28	ロープレ実技テスト課題対策及び総復習	もつれ・毛玉、病気・怪我などパターンなどのペットの状態、お客様のイメージが決まっているなど複数のパターンを合わせてより実践的な接客対応を学習する。		
29～ 30	ロープレ実技テスト及び復習	ロープレ実技テスト。2回に分けて実施。テストを行っていない学生は店舗にてお客様対応ができるように復習をする。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
PETEMO料金表(イオンペット株式会社)、トリミングカード(イオンペット株式会社) iPad 接客フローチャート		期末試験 授業態度	70% 30%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング・トリミング 実習Ⅱ		ペット総合学科 看護コース トレーナーコース/2年生	2020/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	240単位時間	必須	藤田 恵理
授業の概要				
1年次に習得したグルーミングの作業を反復練習をことにより確実に仕上げることができ、さらに時間短縮を意識しながら授業をすすめていく。ペットカットを習得するためにクリッパーの使い方やシザーの使い方など学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
時間の意識をすることにより、犬に負担をかけないグルーミングの習得を目標とする。グルーミングを完璧に行い、部分カットやクリッパー、シザーを使用してのペットカットの習得を目標とする。NAVA2級受験希望者はライセンス合格を目指す。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットショップに勤務		
時間外に必要な学修				
自宅でのシザーリング練習。				
日	テーマ	内容		
1	グルーミング方法、道具の使い方の復習①	1年次の復習を行い、犬の扱い方、道具の使い方、グルーミング方法を確認する		
2	グルーミング方法、道具の使い方の復習②	1年次の復習を行い、犬の扱い方、道具の使い方、グルーミング方法を確認する		
3	グルーミング方法、道具の使い方の復習③	1年次の復習を行い、犬の扱い方、道具の使い方、グルーミング方法を確認する		
4	グルーミング犬種の部分カット①	グルーミング犬種のグルーミング及び部分カット（お尻、飾り毛など）		
5	グルーミング犬種の部分カット②	グルーミング犬種のグルーミング及び部分カット（前胸、前肢など）		
6	グルーミング犬種の部分カット、全身カット①	グルーミング犬種のグルーミング及び部分カット（お尻、飾り毛など）、全身カット（クリッパーを使つてのカット）		
7	グルーミング犬種の部分カット、全身カット②	グルーミング犬種のグルーミング及び部分カット（お尻、飾り毛など）、全身カット（クリッパーを使つてのカット）		
8	各犬種のトリミング①	各犬種のペットカットを学ぶ（クリッパーでの巻き込みカット）		
9	各犬種のトリミング②	各犬種のペットカットを学ぶ（クリッパーでのサマーカット）		
10	各犬種のトリミング③	各犬種のペットカットを学ぶ（オールシザー）		
11	各犬種のトリミング④	各犬種のペットカットを学ぶ（顔カット）		
12	各犬種のトリミング⑤	時間を計り時間短縮を意識する。（180分） ライセンス受験希望者はブードルを担当する。		

日	テーマ	内 容		
13	各犬種のトリミング⑥	時間を計り時間短縮を意識する。(150分) ライセンス受験希望者はプードルを担当する。		
14	各犬種のトリミング⑦	時間を計り時間短縮を意識する。(120分) ライセンス受験希望者はプードルを担当する。		
15	実技確認テスト実施 (グルーミング作業)	担当犬のグルーミングが、設定時間内に正確かつスムーズに行われているかを確認し、実技向上を目指す。		
16	グルーミング犬種の全身トリミング①	下準備まで(ブラッシング、爪切り、耳掃除、シャンピング、ドライグ)は90分仕上げを目指す。トリミングは180分で仕上げる。 ライセンス受験希望者は、180分でプードルを仕上げる。		
17	グルーミング犬種の全身トリミング②	下準備まで(ブラッシング、爪切り、耳掃除、シャンピング、ドライグ)は90分仕上げを目指す。トリミングは150分で仕上げる。 ライセンス受験希望者は、180分でプードルを仕上げる。		
18	グルーミング犬種の全身トリミング③	下準備まで(ブラッシング、爪切り、耳掃除、シャンピング、ドライグ)は90分仕上げを目指す。トリミングは120分で仕上げる。 ライセンス受験希望者は、180分でプードルを仕上げる。		
20	トリミング犬種のトリミング②	グルーミングは90分仕上げを目指す。トリミングはオーダーに沿って仕上げる。		
21	トリミング犬種のトリミング③	グルーミングは90分仕上げを目指す。トリミングはオーダーに沿って仕上げる。 ライセンス受験希望者は、120分でプードルを仕上げる。		
22	トリミング犬種のトリミング④	グルーミングは90分仕上げを目指す。トリミングはオーダーに沿って仕上げる。 ライセンス受験希望者は、120分でプードルを仕上げる。		
23	各犬種のトリミング⑧	グルーミングは90分仕上げを目指す。トリミングはオーダーに沿って仕上げる。 ライセンス受験希望者は、120分でプードルを仕上げる。		
24	各犬種のトリミング⑨	グルーミングは90分仕上げを目指す。トリミングはオーダーに沿って仕上げる。 ライセンス受験希望者は、120分でプードルを仕上げる。		
25	グルーミング作業のスピードアップ①	グルーミング犬種を1日2頭仕上げる (1頭にかかる時間を把握し、手際よく作業を進める)		
26	グルーミング作業のスピードアップ②	グルーミング犬種を1日2頭仕上げる		
27	グルーミング作業のスピードアップ③	グルーミング犬種を1日2頭仕上げる (1頭にかかる時間を把握し、手際よく作業を進める)		
28	グルーミング作業のスピードアップ④	グルーミング犬種を1日2頭仕上げる (1頭にかかる時間を把握し、手際よく作業を進める)		
29	グルーミング作業のスピードアップ⑤	グルーミング犬種を1日2頭仕上げる (1頭にかかる時間を把握し、手際よく作業を進める)		
30	実技確認テスト実施 (グルーミング、部分カット)	グルーミングと部分カットを含めた作業を設定時間内に正確にかつスピーディーに仕上げられているか確認する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
グルーミングマニュアル NAVAグルーミングの基礎		実技試験 授業態度	70.0% 30.0%	

※ 1日4回 (8単位時間)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	90回	90単位時間	必須	岡田 俊夫
授業の概要				
検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する				
授業終了時の到達目標				
臨床検査学で学んだ知識を生かし、動物や検体、機材などを取り扱うための技術を修得することができる。 得られた検査結果を適切に報告することができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①開拓協同組合連合会に勤務 ②食品衛生監視事務所に勤務 ③獣医師として動物病院に勤務 ④石川県畜産会に勤務 ⑤獣医師として動物病院を開業		
時間外に必要な学修				
配布資料や授業のノートをもとに復習し理解を深める				
日	テーマ	内容		
1	一般身体検査	演習によって動物の一般状態（バイタル、身体検査）を的確に把握できるようになる		
2	血液一般検査①	採血の補助と保定法・駆血法、採血した検体の保存法などの技術を修得する		
3	血液一般検査②	CBC検査、ヘマトクリット管を用いた検査法と結果の報告、遠心分離機の使用法などの技術を修得する		
4	血液一般検査③	犬のフィラリア症の検査法、顕微鏡の正しい取り扱い方について技術を修得する		
5	血液一般検査④	血液塗抹標本の作製法および染色法の技術を修得する		
6	血液一般検査⑤	血液塗抹標本の観察による血液細胞の形態の特徴確認と白血球分画の確認を行う技術を修得する		
7	血液生化学検査①	抗凝固剤の選択、血漿と血清の分離法について知識と技術を修得する		
8	血液生化学検査②	ドライケムの使用法、検査結果の記録・報告やデータの管理、備品の管理などについて知識と技術を修得する		
9	貧血時の検査	赤血球の再生像を調べる検査法の知識と技術を修得する ニューメチレンブルー染色の技術と評価法を修得する		
10	輸血時の検査	交差適合試験の方法と判定法についての技術を修得する		
11	尿検査①	採尿時の保定法、検体の取り扱い方と保存について知識と技術を修得する		
12	尿検査②	尿の物理学的検査、化学的検査を行う技術を修得する		

日	テ ー マ	内 容		
13	尿検査③	尿沈査の技術および結果を記録する技術を習得する		
14	糞便検査①	採便法、糞便の性状確認、直接法の標本作製や寄生虫の検出、腸内細菌所見を報告するための技術を修得する		
15	糞便検査②	浮遊法の標本作製および寄生虫卵を検出するための技術を修得する		
16	X線検査①	撮影器具やフィルムの取り扱い、放射線防護に必要な装備と行動について学修する		
17	X線検査②	撮影の準備、撮影におけるポジショニングと保定（胸部・腹部・頭部・頸部）について正しい技術を修得する		
18	X線検査③	X線検査におけるポジショニングと保定（四肢・股関節・膝関節・脊椎）について正しい技術を修得する		
20	心電図検査②	肢誘導による心電図の違いを確認し、正常な心電図を理解する		
21	超音波検査①	超音波装置の取り扱い、検査手順と検査前動物の準備、検査後の装置の管理などについて学修する		
22	超音波検査②	検査時に使用される、部位別の保定技術を修得する		
23	神経学的検査①	視診での評価、神経学的検査に必要な器具の準備およびと検査結果の記録の取り方について学修する		
24	神経学的検査②	姿勢反応試験、脊髄反射試験、脳神経機能試験などの検査の補助方法を学修する		
25	眼科検査①	視診での評価、視覚検査に必要な器具の準備と保定について学修する		
26	眼科検査②	シルマー試験、フルオレセイン染色、眼圧測定などの検査の準備と補助について学修する		
27	皮膚検査①	皮膚病における問診の取り方および病変部の観察と記録方法を学修する		
28	皮膚検査②	皮膚搔爬試験、スタンプ検査、被毛検査等の検査方法や、器具の準備と検査の補助について学修する		
29	外耳道検査	必要な器具の準備と検査の補助について学修する		
30	細胞診	必要な器具の準備と保定、検体処理法、染色法について学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
イヌとネコの臨床検査マスターブック(インターズー) 動物看護実習テキスト(インターズー) 動物臨床検査学(インターズー)		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	

※1日3回（3単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学実習		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	90回	90単位時間	必須	中山 小百合
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を修得す。創傷管理および理学療法の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
基本的な手術の流れを理解し手術補助に入る際に行うべきことや注意点を理解する。麻酔器の仕組みや補助すべき内容を理し、麻酔管理やモニタリングを十分に行えるようにする。術後管理の手順や注意点を理解する。救急救命法の内容を理解する。創傷管理および理学療法の実施に必要な知識を修得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として動物の飼育担当も兼ね勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	動物外科看護総論	外科診療時に補助に入る動物看護師が必要とする技術の確認を行う		
2	手術前の動物の必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示	手術前の動物に必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示ができるようにする		
3	手術器具の準備と基礎知識①	メス及びメス刃、剪刀、鑷子、鉗子、持針器の取り扱いを修得する		
4	手術器具の準備と基礎知識②	サクションチップ、ドレープ、ガーゼ、整形外科器具および電気メスの取り扱いを修得する		
5	手術器具の準備と基礎知識③	縫合針および縫合糸の取り扱いを修得する		
6	手術室の環境管理、手術器具試験	手術室の環境管理について、衛生的な清掃法および機材・消耗品の管理方法について学習する		
7	手指の消毒	術者および助手は、無菌操作の前に十分な手指の消毒を行う。その手順を修得する		
8	術者の準備	帽子・マスク、ガウンおよびグローブの装着を修得する		
9	術野の消毒	術野及び周辺皮膚を含めて、可能な限り微生物の数を減らすために行う術野の消毒法を修得する		
10	滅菌と消毒	消毒と滅菌について学習する		
11	手術器具の準備と基礎知識	手術のために用いる器具・機材の準備が的確にできるようにする		
12	気管挿管の準備・手順	気管挿管に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		
13	血管確保の準備・手順	血管確保に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		

回	テーマ	内 容		
14	輸液準備・管理	輸液の目的を理解し、必要な準備できるようにする		
15	輸液ポンプの使用法および輸液速度の計算	輸液ポンプの接続および設定ができるようになる。また輸液速度の計算ができるようになる		
16	術前検査、麻酔リスクの評価(ASA評価)	麻酔をかける前にその動物が安全に麻酔をかけられるかどうかきちんと評価する。飼い主への説明をする		
17	周術期の麻酔	術中麻酔及び覚醒について学習し、動物の麻酔深度および覚醒の目安とリスクを理解する。		
18	術後管理	術後管理および疼痛管理の意義と、その方法について理解する		
20	モニタリング①	五感をつかったモニタリング、心臓血管系のモニター項目の意義について理解する		
21	モニタリング②	呼吸器系のモニター項目、麻酔監視項目の監視方法、意義について理解する		
22	麻酔記録の取り方、まとめ	麻酔器およびモニタリングの試験を振り返り、再確認を行う。麻酔記録をとる意義とその書き方を覚える		
23	手術室の準備および術中補助	手術室の準備の確認を行い、手術の直接補助および間接補助の内容について理解する		
24	ラット解剖	ラットを用いて模擬去勢手術を実施し、その後ラットの解剖を行い体内の臓器及び骨等を観察する		
25	整形外科疾患	整形外科疾患について解剖学を含め、それぞれの特徴を理解する		
26	包帯法	基本的な包帯法を修得する		
27	理学療法	理学療法の目的と意義について理解する。代表的な理学療法の方法の原理、手技について理解する。		
28	救急救命法	救急救命に関する処置を理解し、緊急時に適切かつ速やかな対応が取れるようになる		
29	歯科処置	歯についての基礎知識を得る。また代表的な歯科器具の名称、使用法を理解する		
30	薬理実習	調剤に必要な基礎知識および調剤法を修得する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）、動物看護の実践（ファームプレス）、動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	

※1日3回（3単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学Ⅱ		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	岡田 俊夫
授業の概要				
動物の体の構造（形態学）と仕組み（機能学）は密接な関わりがあり、これを合わせて形態機能学として細胞レベルから器官系レベルの各段階で学修することで生命維持の仕組みを理解し、他の基礎学問や臨床系科目を学修するための基礎を構築する。				
授業終了時の到達目標				
体の構造を知ることによって動物の扱い方に配慮することができる。 細胞、組織、器官、器官系の正常な構造と機能、関係性を理解することで動物の疾病の機序を理解できる、などの応用学問や臨床学問の基礎を構築することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①開拓協同組合連合会に勤務 ②食品衛生監視事務所に勤務 ③獣医師として動物病院に勤務 ④石川県畜産会に勤務 ⑤獣医師として動物病院を開業		
時間外に必要な学修				
配布資料や授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	生体の成り立ち	体を構成する主な基本物質や生体の階層構造を図で学び、化学物質レベルから個体レベルまで学習する		
2	細胞の構造と働き	図表などで学び、動物細胞の基本的な構造と働きについて学修する		
3	細胞分裂、遺伝情報	図表などで整理し、細胞分裂のしくみや遺伝情報に関わる事柄について学修する		
4	遺伝子と器官発生	遺伝や遺伝に関する法則などについて学修する。 受精卵から器官発生が起こる過程を学修する		
5	組織	図表を整理して、上皮組織、腺組織、支持組織、筋組織、神経組織について、構成や分類、機能について学修する。		
6	皮膚	皮膚の構造と機能および皮膚の付属器官について学修する		
7	感覚器	体性感覚（皮膚感覚、運動感覚）および特殊感覚（視覚、聴覚、平衡感覚、嗅覚、味覚）について学修する		
8	運動器①	図表などで学び、骨格の構成や骨の形状と構成について学修する		
9	運動器②	骨格系の分類や関節の構造と機能について学修する		
10	運動器③	骨格筋の構造と収縮機序および主な骨格筋について名称と機能を学修する		
11	血液と造血器①	血液の機能および構成成分と血液細胞の構造と機能を学修する		
12	血液と造血器②	血小板機能と血液凝固機序について学修する		

回	テーマ	内 容		
13	消化器①	図表などで学び、消化器の構造と機能を学修する		
14	消化器②	消化腺（唾液腺・膵臓・肝臓）の構造と機能を学修する		
15	消化器③	炭水化物、タンパク質、脂肪の代謝と消化・吸収のしくみ、酵素反応について学修する		
16	循環器①	図表などで学び、心臓の構造について学修する		
17	循環器②	心筋の性質と興奮伝導系について学修する 心臓の周期、心電図の基礎及び心音について学修する		
18	循環器③	心拍出量およびその調節、心拍数の調節について学修する		
20	呼吸器①	図表などで学び、呼吸器の構造と機能を学修する		
21	呼吸器②	呼吸および肺胞におけるガス交換のしくみ、呼吸運動の調節機構を学修する		
22	泌尿器①	図表などで学び、腎臓および尿路の構造と機能について学修する		
23	泌尿器②	尿の生成と排尿のしくみを学修する		
24	泌尿器③	体液分布と区分、その調節機構及び電解質のバランス、酸塩基平衡について学修する		
25	脳と神経①	神経系の分類とニューロンの構成および興奮の伝導とシナプス伝達について図表を整理して学習する		
26	脳と神経②	図表で整理して中枢神経系（脳・脊髄）の構造と機能を学修する		
27	脳と神経③	図表で整理して末梢神経系の構成や機能を学修する		
28	内分泌とホルモン総論	ホルモンの性質、機能、生成、分泌、調節機構について学修する		
29	内分泌とホルモン各論①	視床下部、下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体について、臓器の構造と機能および分泌されるホルモンの作用について学修する		
30	内分泌とホルモン各論②	副腎、膵臓について、臓器の構造と機能および分泌されるホルモンの作用について学修する 消化管から分泌されるホルモンの作用について学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物形態機能学（インターズー） 伴侶動物解剖生理学（緑書房） 小動物獣医看護学（インターズー）		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	岡田 俊夫
授業の概要				
様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、生体検査における動物の取り扱いや検体検査における検体や測定機器の正しい扱い方及び所見の記録方法を修得する。				
授業終了時の到達目標				
検査の原理を理解することで検体や測定機器の適切な取り扱いができるようになる。 検査の意義を理解することで病気の診断や治療のサポートができるようになる。 検査の方法を理解することで獣医師の診察の補助を適切に行うことができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①開拓協同組合連合会に勤務 ②食品衛生監視事務所に勤務 ③獣医師として動物病院に勤務 ④石川県畜産会に勤務 ⑤獣医師として動物病院を開業		
時間外に必要な学修				
配布資料や授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	臨床検査の基礎	臨床検査は検体検査と生体検査に分けられ、それぞれどのような検査が行われるかを学修する		
2	血液検査①	検査の目的、採血部位、採血の準備、抗凝固剤の選択、血漿と血清の選択について学修する		
3	血液検査②（血液一般検査）	全血球計算法、血液塗抹検査、ヘマトクリット管を用いた検査について学修する		
4	血液検査③（血液生化学検査）	ドライケムの取り扱い方法や測定する検体の処理方法について学修する		
5	血液検査④（血液凝固系検査）	一次止血、二次止血の機構に異常がないか確認する検査について学修する		
6	血液検査⑤（血液ガス分析検査）	血液ガス測定の意義や検体の取り扱い方、検査方法について学修する		
7	血液検査⑥（免疫学的検査）	感染症の有無やアレルギー疾患、免疫介在性疾患などの検査の目的と意義について学修する		
8	糞便検査①	検査の目的、採便法、肉眼的観察の方法について学修する		
9	糞便検査②	寄生虫の検査、その他微生物の検査、消化試験について意義と方法を学修する。		
10	尿検査①	検査の目的、採尿法、検体の取り扱い、尿の性状検査の意義と方法について学修する		
11	尿検査②	尿沈渣について、標本の作製と所見の解釈について学修する		
12	X線検査①	X線検査の原理および目的、使用する機材および検査における動物看護師の役割について学修する		

回	テ ー マ	内 容		
13	X線検査②	X線検査の実施方法と撮影体位について学修する		
14	X線検査③	造影検査の目的、分類、方法及び透視撮影の目的について学修する		
15	X線検査④	フィルムの現像と読影準備の方法及びコンピュータX線撮影法（CR）、デジタルX線撮影法（DR）について学修する		
16	X線検査⑤とその他の画像診断	被曝とX線検査時における被曝管理について学修する CT、MRI、PETなどその他の画像診断の概要について学修する		
17	心電図検査①	心電図検査の目的と心電図の原理について学修する		
18	心電図検査②	心電図検査の実施方法と心電図の評価について学修する		
20	超音波検査	超音波の特徴および超音波検査の目的と実施方法について学修する		
21	内視鏡検査①	内視鏡検査の目的、内視鏡の分類および構造について学修する		
22	内視鏡検査②	内視鏡検査の実施方法とスコープの洗浄・消毒について学修する		
23	眼科検査①	視覚検査、眼科神経学的検査、シルマー試験、フルオレセイン染色などの検査の意義と方法について学修する		
24	眼科検査②	細隙灯顕微鏡検査、眼圧測定、眼底検査などの検査の意義と方法について学修する		
25	神経学的検査①	神経学的検査の目的、視診、姿勢反応について学修する		
26	神経学的検査②	脊髄反射、脳神経検査および神経学的検査の評価記録法について学修する		
27	皮膚の検査	皮膚病変の観察・記録法および皮膚の検査方法について学修する		
28	耳の検査	耳介、外耳道の意義と検査方法について学修する		
29	細胞診と病理組織検査	細胞診検査の目的と方法を学修する 病理組織検査の目的と検体処理法について学修する		
30	遺伝子検査	遺伝子検査の目的と対象疾患について、および検体の採取と取り扱い法について学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物臨床検査学（インターズー） イヌとネコの臨床検査マスターブック（インターズー）		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中山 小百合
授業の概要				
代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられているか理解する。また薬物の取り扱いや保存方法を習得し、投薬量の計算ができるようになる。				
授業終了時の到達目標				
獣医師より処方された薬物の薬理作用および副作用を動物看護師が十分に理解し、調剤できるようにする。また、飼い主に服薬指導などができるように薬理学の各論を理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として動物の飼育担当も兼ね勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	薬物動態（吸収、分布）	薬理学を学ぶ意義、目的を知る。生体内に吸収された薬物は血流にのって全身の臓器に分布することを図解を用いて理解する		
2	薬物動態（代謝、排泄）	体内に吸収された薬物が、どのように代謝され、排泄されるか臓器や器官ごとに理解する		
3	薬物の効果に影響を与える因子	薬物間の協力作用、拮抗作用、耐性、血中半減期などの相互作用について理解する		
4	薬物の投与経路	薬物の投与経路の種類と、各投与経路の特徴（長所と短所）を理解する		
5	医薬品	医薬品の分類（医療用医薬品、OTC医薬品など）を学ぶ。医薬品の薬剤管理、関係法律を学ぶ		
6	薬物の剤型、投与量の計算	薬物の剤型におけるメリットやデメリット、種類を学ぶ。処方箋に用いられる調剤用語、薬用量の計算方法を学習する		
7	神経系に作用する薬物	神経系の仕組みを理解し、交感神経と副交感神経の作用を学ぶ		
8	自律神経作動薬、神経筋遮断薬、局所麻酔薬	自律神経および運動神経に作用する薬物、局所麻酔薬に使用される薬剤の種類や効果を学ぶ		
9	全身麻酔薬（注射麻酔薬）	全身麻酔薬の注射麻酔薬について、薬物動態、種類、名前および特徴を学ぶ		
10	全身麻酔薬（吸入麻酔薬）	全身麻酔薬の吸入麻酔薬について、薬物動態、種類、名前および特徴を学ぶ		
11	精神安定薬、鎮静薬、鎮痛薬、抗痙攣薬、行動異常の治療薬	薬物の名前、特徴及び作用メカニズムを理解する		
12	抗菌薬とは何か	抗菌薬の種類とその特性を理解する		
13	抗菌薬の作用メカニズム、βラクタム系抗菌薬	抗菌薬の作用メカニズムを学習する。βラクタム系の抗菌薬の名前および特徴を学ぶ		

回	テーマ	内 容		
14	抗菌薬	バンコマイシン, アミドグリコシド, キノロン系, テトラサイクリン, クロラムフェニコール, マクロライド, リンコサミド, サファア剤の薬剤の名前および特徴を学ぶ		
15	抗真菌薬	抗真菌薬の名前および特徴を学ぶ		
16	外部寄生虫駆虫薬	外部寄生虫駆虫薬の名前および特徴について理解する。また外部寄生虫の種類や感染経路などを復習する		
17	内部寄生虫駆虫薬	内部寄生虫駆虫薬の名前および特徴について理解する。また内部寄生虫の種類や感染経路などを復習する		
18	抗フィラリア薬	フィラリアのライフサイクルを覚え、犬系状虫の駆虫、予防薬の名前、副作用および投与方法などについて理解する		
20	循環器・泌尿器に作用する薬物②	利尿薬、呼吸興奮薬、鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬の名前および特徴について理解する		
21	呼吸器系に作用する薬物	呼吸興奮薬、鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬の名前および特徴について理解する		
22	消化器に作用する薬物①	制吐薬、催吐薬、胃酸分泌抑制薬、制酸薬、消化管粘膜保護剤の名前および特徴について理解する		
23	消化器に作用する薬物②および肝疾患、胆道疾患の治療薬	消化管運動促進薬、止瀉薬、瀉下薬、肝疾患、胆道疾患の治療薬の名前および特徴について理解する		
24	オータコイド	代表的なオータコイド（ホルモン、神経伝達物質を除く微量で生理・薬理作用を示す生理活性物質）について理解する		
25	内分泌系の薬物	治療薬として使用される内分泌薬の名前および特徴について理解する		
26	抗炎症薬（ステロイドホルモン）	炎症のメカニズムを理解し、炎症メディエーターについて学習する。ステロイドホルモンの作用、薬品名、副作用について理解する		
27	抗炎症薬（非ステロイド性抗炎症薬）、免疫抑制薬	ステロイド性抗炎症薬、免疫抑制薬の名前および特徴について理解する		
28	血液系に作用する薬物	治療薬として使用される薬物の名前および特徴について理解する		
29	抗癌剤	抗癌剤の作用メカニズム、薬物の名前および特徴について理解する。抗癌剤の使い方と注意点を理解する		
30	まとめ	前期、後期で学んだ神経系から抗癌剤までの薬物の復習をグラフや表を作成してまとめを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物の疾病と予防および回復（ファームプレス） 動物看護の教科書（緑書房） コンパニオアニマルのファースト・ステップ薬理学（インターズー）		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中山 小百合
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を修得す。創傷管理および理学療法の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
手術の際に使用する器具機材を理解して、術前の準備ができるようになる。基本的な手術の流れを理解する。手術補助に入る際に行うべきことや注意点を理解する。麻酔器の仕組みを理解する。麻酔管理で補助すべき内容を理解する。術後管理の手順や注意点を理解する、救急救命法の内容を理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として動物の飼育担当も兼ね勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	動物外科看護総論	外科診療時に補助に入る動物看護師が必要とする技術には何が必要か理解する。		
2	無菌操作、手術室の環境管理	無菌操作の重要性を確認する。		
3	手術前の動物に必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示	手術前の動物に必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示について学ぶ		
4	手術器具の準備と基礎知識①	一般的な手術器具の名称と特徴を理解し、それぞれの使用目的に合わせて適切に扱えるようにする。		
5	手術器具の準備と基礎知識②	一般的な手術器具の名称と特徴を理解し、それぞれの使用目的に合わせて適切に扱えるようにする。		
6	手術器具の準備と基礎知識③	縫合糸および縫合糸の種類や特徴を理解する。		
7	手指の消毒	手術前に手指を清潔に保つ必要があることを理解し、スクラブ法とラビング法を学ぶ。		
8	術者の準備	帽子・マスクを必ず着用し、身なりを整え、無菌的にガウンの着用とグローブの装着を行う。		
9	術野の消毒	術野及び周辺皮膚を含めて、可能な限り微生物の数を減らすために行う術野の消毒を学習する。		
10	滅菌と消毒	消毒と滅菌について学習する。		
11	手術器具の準備と基礎知識	手術器具、手術衣、タオル、ドレープ類の準備、手術に用いる器具・機材の準備がちゃんどできるようにする。		
12	気管挿管の準備・手順	気管挿管に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする。		
13	血管確保の準備・手順	血管確保に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする。		

回	テーマ	内 容		
14	輸液の準備・管理	輸液の目的を理解し、必要な準備できるようにする。		
15	輸液ポンプの使用法および輸液速度の計算	輸液ポンプの接続および設定ができるようになる。また輸液速度の計算ができるようになる。		
16	麻酔とは何か	麻酔の定義を知り、なぜ手術に麻酔が必要か理解する。また、麻酔の目的と基本的な考え方を理解する		
17	周術期の麻酔	麻酔前投与薬および導入麻酔を行う意義を理解し、注射麻酔および吸入麻酔について学習する		
18	術後管理	疼痛管理の意義を方法について理解する（急性痛のペインスケールをもとに判断できるようにする）		
20	モニタリング①	五感をつかったモニタリング、心臓血管系のモニター項目麻酔監視項目の監視方法、意義について理解する		
21	モニタリング②	呼吸器系のモニター項目、麻酔監視項目の監視方法、意義について理解する		
22	麻酔装置およびモニタリングの試験	麻酔器およびモニタリングについて試験を行い、学生の理解度を確認する		
23	外科手術	卵巣子宮摘出術、去勢手術を中心に外科手術を行う上で手術に必要な知識を修得する		
24	ラット解剖	ラットを用いて去勢手術を実施し、あわせて解剖により体内の臓器及び骨等を観察する		
25	創傷管理	創傷の種類と治癒過程、管理方法を知る		
26	術創管理・包帯法・褥瘡管理	術創管理、包帯法、褥瘡予防について理解する。退院時の注意点、飼い主への説明事項について理解する。		
27	理学療法	理学療法の目的と意義について理解する。代表的な理学療法の方法の原理、手技について理解する。		
28	救急救命法	エマージェンシーの原因、病態について学習し、一次および二次救命処置について理解する。		
29	歯科処置	歯についての基礎知識を得る。また代表的な歯科器具の名称、使用法を理解する。		
30	薬理実習	調剤に必要な基礎知識および調剤法を修得する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）、動物看護の実践（ファームプレス）、動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 態度点	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	岡田 俊夫
授業の概要				
犬猫の主要な疾患の病態生理を学び、臓器ごとの機序及び機能障害や症状、検査の種類、治療法の概略を学修する。				
授業終了時の到達目標				
各疾患に関連する症状や検査法、治療法の理解を深め、機能障害に対応する看護方法や介入方法を予測できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		開拓協同組合連合会勤務 食品衛生監視事務所勤務 獣医師として動物病院に勤務 石川県畜産会に勤務 獣医師として動物病院を開業		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1~2	皮膚科疾患 皮膚の代表的な疾患①	犬猫の(〇〇や▲▲などの)主要な皮膚疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
3~4	皮膚科疾患 皮膚の代表的な疾患②	犬猫の(〇〇や▲▲などの)主要な皮膚疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
5~6	皮膚・感覚器科系疾患③耳	犬猫の耳介、外・中・内耳に関わる疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
7~8	皮膚・感覚器科系疾患④皮膚および皮下織の腫瘍	犬猫の皮膚及び皮下織に発生する主な腫瘍の種類、発生機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
9~10	腫瘍① 総論・リンパ腫	犬猫の全身に発生する各種腫瘍、リンパ腫の主な種類、発生部位及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
11~12	腫瘍② 肥満細胞腫	犬猫の全身に発生する肥満細胞腫の主な発生部位及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
13~14	血液疾患① 血球系・脾臓	各種血球系及び脾臓疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
15~16	血液疾患② 凝固系	血液の凝固系疾患について、機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
17~18	感覚器系疾患 眼	眼科疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
19~20	筋肉、骨格系および整形外科疾患① 筋肉・骨格・関節	筋肉、骨格、関節疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
21~22	筋肉、骨格系および整形外科疾患③ 骨折	骨折の種類、機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
23~24	脳神経系 ①脳・脊髄の代表的な疾患	脳・脊髄の代表的な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
25~26	脳神経系 ②脳・脊髄の代表的な疾患	脳・脊髄の代表的な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		

回	テ ー マ	内 容		
27～ 28	内分泌系疾患③副腎・生殖器・その他	副腎、生殖器、その他の主な内分泌疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
29～ 30	消化器系疾患①口腔・食道	口腔、食道の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
31～ 32	消化器系疾患②胃・小腸・大腸・肛門	胃、小腸、大腸及び肛門の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
33～ 34	消化器系疾患④肝臓、胆嚢	肝臓、胆嚢の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
35～ 36	消化器系疾患⑤膵臓、腹腔、腹膜	膵臓、腹腔、腹膜の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
37～ 38	循環器疾患①先天性疾患	循環器の主な先天性疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
39～ 40	循環器疾患②後天性疾患(1)	循環器の主な後天性疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
41～ 42	循環器疾患②後天性疾患(2)	循環器の主な後天性循環器の疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
43～ 44	泌尿器系疾患(1)	主な泌尿器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
45～ 46	泌尿器系疾患(2)	主な泌尿器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
47～ 48	生殖器系・新生児・遺伝性疾患	生殖器系、新生児及び遺伝性各疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
49～ 50	呼吸器系疾患	主な呼吸器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
51～ 52	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒①	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
53～ 54	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒②	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
55～ 56	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒③	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
57～ 58	感染性疾患 寄生虫性	主な寄生虫性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法について学修し理解する。		
59～ 60	人獣共通伝染病・家畜伝染病	人獣共通伝染病、家畜伝染病の主な疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法について学修し理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
臨床動物看護学3(インターズー)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	八木 幸隆
授業の概要				
環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣医療における公衆衛生の目的、公衆衛生行政、One Healthと獣医療の関係を理解する。 ・ 感染の成立、疾病・健康障害の発生要因、予防医学、人獣共通感染症とその対策を理解する。 ・ 環境衛生の歴史、背景、現在の問題点、化学物質による健康被害などを理解する。 ・ 食品衛生、食中毒、動物性食品の衛生、食品衛生管理手法などを理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として農林省動物検疫所に勤務5年 獣医師として石川県厚生部や保健所に勤務32年		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1~2	獣医療における公衆衛生の目的、公衆衛生行政、国民衛生の動向	人を対象とした疾病の予防、健康の保持と増進について理解する。保健統計の種類とその意義を理解する。		
3~4	One Healthと獣医療の関係、動物看護師の役割	感染症の制御、食料の安定供給等に向けての獣医師および動物の飼育に伴う動物看護師の役割を理解する。		
5~6	感染の成立、疾病・健康障害の発生要因	感染症発生要因、感染症予防の基本原則および内因と外因が相互に関連する疾病の発生要因を理解する。		
7~8	疫学調査法、人獣共通感染症の定義と概要	疫学研究のフレームワーク（検査手順）、人獣共通感染症の定義、種類、現状など理解する。		
9~10	ウイルス性人獣共通感染症 狂犬病予防	主なウイルス性人獣共通感染症の病因、人における症状、対策などを理解する。		
11~12	ウイルス性、リケッチア性およびクラミジア性人獣共通感染症	主なウイルス性、リケッチア性およびクラミジア性人獣共通感染症の病因、人における症状などを理解する。		
13~14	細菌性人獣共通感染症	主な細菌性人獣共通感染症の病因、人集団における発生状況、人における症状などを理解する。		
15~16	真菌性人獣共通感染症 自然環境および環境衛生の概念	主な真菌性人獣共通感染症の病因などおよび自然環境の循環、環境汚染が生態系に与えるリスクを理解する。		
17~18	生活環境の維持（水、大気、室内、廃棄物）、地球環境問題の概要	水環境・大気環境・室内環境・廃棄物の管理および地球環境問題の概要する方法等を理解する。		
19~20	地域での環境問題（公害）の概要 化学物質や放射性物質による汚染	地域での環境問題（公害）の概要および化学物質と放射線の種類とそれらの取扱いを理解する。		
21~22	衛生動物等による健康被害 食品衛生の概要	健康被害を与える衛生動物等の種類および食品衛生の概要（目的、対象、範囲）を理解する。		
23~24	細菌性食中毒	細菌性食中毒の原因菌、起病性のメカニズム、疫学、予防法を理解する。		

25～ 26	ウイルス性食中毒、自然毒、有害物質による食品汚染と健康障害	ウイルス性および自然毒による食中毒の基礎知識を理解する。化学物質を含む有害物質による健康被害を知る。		
27～ 28	食品添加物、食物アレルギー、微生物制御と腐敗、食品衛生行政	食品添加物の概要、食品に対するアレルギー反応、食品の腐敗メカニズム、食品衛生行政を理解する。		
29～ 30	食品衛生管理、乳、乳製品および食肉、食鳥肉等の衛生	食品衛生に関する行政の役割、動物性食品（乳、乳製品、食肉、食鳥肉、食卵）の衛生を理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
獣医公衆衛生学Ⅰ、Ⅱ（文永堂出版）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物病理学		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年生	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	岡田 俊夫
授業の概要				
様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化、その原因、発生機序、病態について学ぶ。病気の変遷、細胞や組織に生じる変化、退行性病変、進行性病変、循環障害、炎症、腫瘍、奇形などについて具体的に学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義について理解する。 ・細胞や組織に生じる変化、例えば変性、壊死、アポトーシス、過形成などについて理解する。 ・循環障害、例えば充血、うっ血、出血の原因と病態、血栓の成因、梗塞などを理解する。 ・炎症の定義と5大主徴、分類、発生機序などおよび腫瘍の定義、分類、原因などを理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①県庁職員として保健所、衛生研究所などで研究員および所長として勤務 ②福井県獣医師会副会長として従事 (現在に至る)		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義	疾病診断の最前線である病理解剖(剖検)、基本的な病理組織学的検査の目的、意義を理解する。		
2	病理組織標本の作製法、病理組織学的検査の実施手順	一般的な病理組織標本の作製方法、目的に応じた特殊な固定法、標本作製、染色方法を理解する。		
3	変性と物質沈着、壊死とアポトーシス	細胞障害の形態学的変化、異常蛋白質の沈着症、組織の死(壊死)、細胞死(アポトーシス)を理解する。		
4	細胞増殖のメカニズム、再生と化生	細胞や組織の増殖を制御する因子、細胞増殖のメカニズム、組組織および器官の再生メカニズムを理解する。		
5	過形成と肥大、低形成と萎縮	ストレス、刺激に対する細胞障害、細胞の応答(適応、恒常性)を理解する。		
6	充血とうっ血	動脈性の血液が増加(充血)と静脈性の血液が増加(うっ血)の原因と病態を理解できる。		
7	出血の原因と病態	出血の定義、分類、影響、血液凝固、止血機構、出血性素因などを理解する。		
8	血栓の成因、播種性血管内凝固(DIC)の病態	血栓の性状による分類、血栓形成の条件、血栓の二次的変化と転帰およびDICの病態を理解する。		
9	虚血と梗塞、浮腫、水腫	虚血の原因による分類、梗塞の原因、種類と特徴および経過、水腫の発生要因と分類を理解する。		
10	ショックの原因と分類、病態	ショックの分類および病態生理、ショック臓器の病理を理解する。		
11	炎症の定義と5大主徴、炎症の分類と原因、特徴	炎症の定義と5大主徴(発赤、熱感、腫脹、疼痛、機能障害)、急性炎症と慢性炎症の原因と特徴を理解する。		
12	炎症に関与する細胞と化学伝達物質、炎症の経過と治癒	各種炎症性細胞、各種炎症の仲介物質(ケミカルメディエーター)を理解する。		
13	腫瘍の定義と分類	細胞の増殖および分化の機構とそれらの異常、腫瘍の定義と種類を理解する。		

14	腫瘍の原因と発生機序、腫瘍の転移と進行、腫瘍と宿主の関係	腫瘍の原因と発生機序(突然変異説, 化学異常説)、腫瘍の転移の種類、宿主へ影響(局所, 全身的)を理解する。		
15	遺伝子・染色体異常、発生異常と奇形	先天異常の概念と分類を理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物病理学総論 第3版(文永堂出版)		期末試験 小テスト	40.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療コミュニケーション		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	斉田 千春
授業の概要				
動物病院における接遇の基礎（笑顔の作り方、電話対応の方法、敬語の使い方、コミュニケーションの取り方）や日常健康管理に関わる飼い主教育をロールプレイングでの実習を取り入れながら習得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・接遇を学ぶことで動物看護師として状況に応じた対応ができ、飼い主と円滑なコミュニケーションを取ることができる ・動物看護師として適切な身だしなみや言葉遣いができ、飼い主に安心感を与えることができる ・適正飼育について理解し、健康管理のため必要な情報を飼い主に提供できる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	学修内容		
1	動物医療コミュニケーションについての説明	授業内容、カリキュラムについて、接遇・ホスピタリティとは何かを理解する		
2	笑顔の効果 適切な話し方	笑顔がもたらす効果、適切な言葉遣いについて学修し、笑顔の練習をすることで表情管理の仕方を理解する		
3	再診受付	再診の対応（診察を受ける目的での来院対応）の仕方を実習を行うことで理解する		
4	初診の受付	初診の対応（診察を受ける目的での来院対応）の仕方を実習を行うことで理解する		
5	診察室への案内 待合室管理術	診察室への案内の実習を行い、待合室管理の仕方を理解する		
6	問診	主訴に合わせた問診すべき内容を学修し、問診の仕方を理解する		
7	薬の説明	相手に合わせた、相手が理解できる薬の説明の仕方を実習を行うことで理解する		
8	精算業務	迅速かつ丁寧な精算業務の仕方を理解する		
9	電話対応①	電話の出かた、取り次ぎ、対応中の姿勢など電話対応の基礎を実習を行うことで理解する		
10	電話対応②	様々な相手（クレーム、お悔やみ、業者など）の電話対応を学修し理解する		
11	緊急時の対応 不快感情の飼い主対応	緊急時の電話の受け方、待合室の飼い主への協力依頼の発話を学修し、理解する		
12	クライアントエデュケーション概論	クレーム時の初動対応を学修し理解する 飼い主教育がなぜ必要か、どのように進めるのかを理解する		
13	狂犬病予防接種 混合ワクチン接種	狂犬病の適切な予防法、混合ワクチンについて、飼い主への説明方法を学修し理解する		

14	フィラリア予防 ノミ・ダニ予防	フィラリア、ノミ・ダニの適切な予防法について、飼い主への説明方法を学修し理解する		
15	避妊・去勢手術	避妊・去勢手術、デンタルケアについて、飼い主への説明方法を学修し理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・動物病院スタッフのための院内コミュニケーション 基礎知識編 (interzoo) ・動物病院スタッフのための院内コミュニケーション 実践編 (interzoo) ・動物病院の接遇 (interzoo) 		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	清水 宗春
授業の概要				
これまでの獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理を学び、動物看護師としての社会的責務を理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内での獣医療の歴史を学び、動物看護師の職域と現状が理解できる ・日本と欧米の動物看護師の職域の相違を理解し、日本での動物看護に対する概念や本質を理解することができる ・獣医師と動物看護師の担当職域の違いを学び両者の視点の違いを理解することで獣医師とは異なる視点で支援ができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		横浜市役所栄生福祉局 東京都福祉保健局（動物管理事務局） 帝京大学アニマルサイエンス大学獣医学科 非常勤講師 日本獣医生命大学獣医学科 非常勤講師 石川県保健所動物管理センター業務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容や確認テストなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	獣医療の歴史	獣医療の歴史や軌跡を理解することで獣医学について学修する		
2	獣医療倫理	小動物医療における獣医師の理念や指針を理解し獣医領の職業倫理を学修する		
3	動物看護の歴史と概念	英国、欧米での動物看護の歴史と看護職の成り立ちを学び日本での動物看護師との相違を理解し学修する		
4	動物看護の概念と本質①	動物看護とは何かを学びその概念と本質について理解し学修する		
5	動物看護の概念と本質②	ナイチンゲールやヘンダーソンなどの偉人について理解し学修する		
6	動物看護の概念と本質③	動物看護に求められるものや立場を学び動物看護が果たすべき役割について理解し学修する		
7	動物看護者の倫理綱領 綱領1~2	倫理綱領1, 2について事例内容を理解し学修する		
8	動物看護者の倫理綱領 綱領3~4	倫理綱領3, 4について事例内容を理解し学修する		
9	動物看護者の倫理綱領 綱領5~6	倫理綱領5, 6について事例内容を理解し学修する		
10	動物看護者の倫理綱領 綱領7~8	倫理綱領7, 8について事例内容を理解し学修する		
11	動物看護者の倫理綱領 綱領9~10	倫理綱領9, 10について事例内容を理解し学修する		
12	動物看護者の倫理綱領 綱領11~12	倫理綱領11, 12について事例内容を理解し学修する		

回	テーマ	内 容		
13	動物看護師の倫理綱領 綱領13~14	倫理綱領 1 3. 1 4について事例内容を理解し学修する		
14	動物看護師の倫理綱領 綱領15	倫理綱領 1 5について事例内容を理解し学修する		
15	まとめ	前期の総まとめをおこなう		
16	動物看護管理①	動物看護師の業務指針や看護方式の種類について理解し学修する		
17	動物看護管理②	獣医療チームの一員としてのメンバーシップや安全管理体制としての自己管理・防止システムについて理解し学修する		
18	動物にとっての福祉・健康・QOL	動物福祉とは何かを考え福祉と健康の関係や動物に特有なQOLの課題について理解し学修する		
20	動物看護学（師）教育の変遷	欧米と日本における動物看護学（師）教育の変遷について理解し学修する		
21	動物看護理論の成立	動物看護理論の成立から過程までを理解し学修する		
22	動物看護学における課題	動物看護学における課題と動物医療を支える獣医学と動物看護学について理解し学修する		
23	動物看護の対象	動物看護が必要とされる時とはどのような時なのかを理解し学修する 動物看護の対象となるもの（動物・飼い主）について学び患者動物、飼い主家族にとってどうあるべきなのか理解し学修する		
24	動物看護師の職域、職務範囲	動物看護師の様々な仕事（診察補助・検査・手術準備・入院動物の管理など動物に直接関わる業務）を学ぶことでその場に応じた動物看護師の役割を理解し学修する		
25	動物看護師の職域と現状	動物看護師において現在の職域を学び医療現場での現状を理解し学修する		
26	動物看護師と獣医師の視点の違い	動物看護師に必要な視点「見る」と獣医師に必要な視点「診る」について理解し学修する		
27	認定動物看護師の誕生	動物看護教育の始まりと動物看護師の育成について理解し学修する		
28	動物看護師の資格制度	教育カリキュラムの誕生や認定動物看護師について理解し学修する		
29	愛玩動物看護師	動物看護師の国家資格化に関連する専門機関について理解し学修する		
30	まとめ	後期の総まとめをおこなう		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野基礎動物看護学（interzoo） 動物看護の教科書（緑書房） イラストでやさしく解説 動物看護師の倫理綱領（interzoo）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学総論		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	齊田 千春
授業の概要				
動物看護を系統的・科学的に行うために必要な動物看護過程の原理と方法について学修する。 動物看護管理の対象とその実践範囲について理解し、組織における良質な動物看護を提供するための知識を修得する。 終末期の動物と飼い主のケアの方法を学修する。				
授業終了後の到達目標				
動物看護過程の展開を理解し、動物看護を実施する際の基礎知識が身に付く 看護記録の扱い方や動物看護者の業務指針を理解できる ターミナルケア・グリーフケアの意義と目的を理解し、アプローチ方法が身に付く				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	動物の看護過程展開①	なぜ動物の看護過程を学ぶ必要があるのかを考える。 アセスメントとは何か、実施する際に活用するSOAPモデルについて学ぶ		
2	動物の看護過程展開②	看護診断とは何か、獣医師の職務と区別して看護過程の中での診断の言葉の意味を理解する		
3	動物の看護過程展開③	看護計画とは何か、orpetとjeffryのアビリティモデルについて理解する		
4	動物の看護過程展開④	看護実践と評価とは何か、誰もが理解できる正確な記録方法の必要性を理解する		
5	動物の看護過程展開⑤	事例を用いて、動物看護過程の各ステップでのポイントや、展開方法を理解する		
6	動物看護業務	チーム獣医療における動物看護師の役割、ケアの標準化、事故管理・防止システムについて理解する		
7	医療記録	診療記録と看護記録の違いを理解し、POS・POMRとその関連性について学ぶ		
8	動物看護記録 基礎知識	記録のために必要な知識と情報の取捨選択について、表や事例を用いて学修する		
9	動物看護記録 基本ルール	SOAPを使用する際の記載例を参考に、それぞれに書く内容と目的を理解する		
10	動物看護記録 誤解を防ぐポイント	「動物看護実践基準」の6つの原則について学び、各項目の正しい記載方法を学修する		
11	動物看護記録 外来	初診と再診の動物看護記録の特徴をそれぞれの事例を見ながら学修し、外来時の看護師の役割と記録の必要性を理解する		
12	ターミナルケア	ターミナルケアの意義と目的、安楽死の意義、QOLやホスピス、緩和ケアについて理解する		
13	グリーフケア①	グリーフの心理プロセスと、生前に起こり得る状況別のグリーフに対するアプローチ方法を学修する		

回	テ ー マ	学修内容		
14	グリーフケア②	死後のグリーフケア、死亡した動物への対応、エンゼルケアについて学修する		
15	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
今からはじめる動物看護過程 臨床動物看護学総論 基礎動物看護学 動物看護実践基準 動物医療グリーフケア		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学実習		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	斉田 千春
授業の概要				
動物看護記録の取り方、表記方法を学ぶ 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
授業終了後の到達目標				
動物看護記録・動物看護計画の記載方法と必要な留意点を理解し、作成できる。 入院動物の管理、疾患又は症状別の看護を行える				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	動物看護過程の実践①	事例を元にアセスメントを行い、思考過程用紙に記入する		
2	動物看護過程の実践②	事例を元に疾患別の基礎知識を確認し、看護上の問題点を抽出し、看護計画用紙に記入する		
3	動物看護過程の実践③	事例を元に看護目標を設定し、観察項目を挙げてから看護計画を立案し、看護計画用紙に記入する		
4	動物看護過程の実践④ グループワーク	設定した各疾患ごとに動物看護過程を展開し、看護計画用紙を作成する		
5	動物看護過程の実践⑤ グループワーク	設定した各疾患ごとに動物看護過程を展開し、看護計画用紙を作成する		
6	薬浴①	薬用シャンプーの種類や成分、シャンプー療法と注意点を学修し理解する		
7	薬浴②	薬用シャンプーを用いたシャンプー療法の実技を行うことで正しい薬浴の知識を学修し理解する		
8	リハビリテーション	リハビリテーションとは何か、目的や適応症例を理解し、リハビリ方法を学修する		
9	入院動物看護①	廃棄物の処理方法、バイオハザードマーク、主な感染源について理解し、手指洗浄法や診察台の消毒法を学修する		
10	入院動物看護②	入院ケージの清掃の手順、院内清掃のポイント、入院から退院までの流れを学ぶ		
11	入院動物看護③ グループワーク	さまざまな事例を想定し、グループに分かれて入院室を準備してみる		
12	食事管理	実際の器具やフードを使用した実習を通して、強制給餌の手順を理解する		
13	痛みの評価	痛みのメカニズムや分類、痛みの出る疾患、急性痛と慢性痛の違いとそれに沿った看護について学修する		

回	テ ー マ	学修内容		
14	高齢動物管理	加齢に伴う介助と、褥瘡管理等の具体的な対処法を学ぶ お悔やみ文の文章を考え、実際に作成してみる		
15	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解 度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
今からはじめる動物看護過程 はじめての動物看護記録 臨床動物看護学総論 基礎動物看護学 動物看護実践基準		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した 内容をノートなど を使用して復習す ること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
産業動物学		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	45回	45単位時間	必須	山口 徹
授業の概要				
産業動物の歴史や品種、その特徴と利用状況、飼養管理法、および畜産業などにおける生産物や労働力、癒しなど社会との関わりについて講義や写真、飼育現場で学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
生物や産業動物の多様性と人間や社会との関連性の知識を身に付ける中で、個々の家畜の役割とその利用方法の判断ができ、社会における家畜の利用や寄与に貢献できる。動物の正しい飼養管理方法と異常時の対処方法を判別できる。生命に対する関心と見方、接し方を考慮することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		県庁へ入庁（家畜保健衛生所）にて勤務。 競馬事業局競馬業務課にて勤務。		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
日	テーマ	内容		
1	生物の多様性と環境	生物の系統樹とその生息環境について理解する		
2	家畜(産業動物)とは何か	動物から家畜への歴史と生産物、能力、社会への貢献について理解する		
3	産業動物として用いられる動物種(牛)	家畜の種類と品種、その価値、飼養管理(牛)について理解する		
4	産業動物として用いられる動物種(馬、豚)	家畜の種類と品種、その価値、飼養管理(馬、豚)について理解する		
5	産業動物として用いられる動物種(緬山羊、鶏)	家畜の種類と品種、その価値、飼養管理(緬山羊、鶏)について理解する		
6	産業動物として用いられる動物種	家畜の種類と品種、その価値、飼養管理(その他の家畜)について理解する		
7	特徴的な体の仕組み①	家畜の種類による胃、腸の違いと機能を理解する		
8	特徴的な体の仕組み②	家畜の種類による歯および指の違いと機能を理解する		
9	特徴的な体の仕組み③	家畜の種類による生殖器の違いと機能を理解する		
10	繁殖	家畜の種類別による繁殖方法から生産性や利用方法の違いを理解する		
11	家畜の疾病と対処①	家畜ごとの特徴的疾患と対処法について理解する		
12	家畜の疾病と対処②	家畜ごとの特徴的疾患と対処法について理解する		
13	飼養衛生管理	家畜別の衛生管理基準により衛生の重要性を理解する		

日	テ ー マ	内 容		
14	畜産業を取り巻く環境と現状	畜産関係組織と畜産業の地域性、特徴、経済規模を理解する		
15	産業動物の福祉	産業動物の飼育と福祉上の問題点及び改善点を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
産業動物学テキスト（インターズー） ヒトと動物（野生動物・家畜・ペットを考える）（朔北社） 生物多様性の基礎知識（B&Tボックス）		期末試験 テーマごとの小テスト	70.0% 10.0%	

※1日3回（3単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
野生動物		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	山口 徹
授業の概要				
日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物との関わりについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
実験動物に関する基礎知識を理解、および動物園などの展示動物を理解することで、動物看護に活かすことができる。習得した知識から、飼い主に野生動物や展示動物の重要性を伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		県庁へ入庁（家畜保健衛生所）にて勤務。 競馬事業局競馬業務課にて勤務。		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	野生動物学の基礎①	野生動物の種類と特徴について理解する		
2	野生動物学の基礎②	野生動物の保全の意義を理解する		
3	野生動物学の基礎③	野生動物による鳥獣害の現状について理解する		
4	野生動物学の基礎④	飼育下繁殖および動物などの役割について理解する		
5	野生動物学の分類と生物多様性①	動物分類の方法について理解する		
6	野生動物学の分類と生物多様性②	日本在来の動物の生態および生息環境について理解する		
7	野生動物学の分類と生物多様性③	種の多様性、遺伝子の多様性条約および国家戦略について理解する		
8	野生動物学の分類と生物多様性④	生物多様性条約および国家戦略について理解する		
9	絶滅危惧種の保全①	絶滅危惧種の定義および含まれる動物（レッドリストなど）について理解する		
10	絶滅危惧種の保全②	絶滅危惧種の原因について理解する		
11	絶滅危惧種の保全③	絶滅危惧種の保全法について理解する		
12	動物園①	展示動物の意義と動物園の役割および個体管理について理解する		

13	動物園②	動物園の行動管理および施設管理について理解する		
14	外来種	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種の定義および含まれる動物について理解する ・ 外来生物への対策について理解する 		
15	まとめ	確認問題と解説 全体の内容を理解できているか自己確認を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ コアカリ 野生動物学 ・ 野生動物と社会 一人間事象からの科学一 ・ 応用動物看護学（インターズー） 		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実験動物学		イオンペット社員養成学科 動物看護学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	15回	15単位時間	必須	山口 徹
授業の概要				
実験動物の歴史や品種、飼養管理法および動物実験との関わりについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
実験動物に関する基礎知識を理解することで、動物看護に活かすことができる。習得した知識から、飼い主に実験動物の重要性を伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		県庁へ入庁（家畜保健衛生所）にて勤務。 競馬事業局競馬業務課にて勤務。		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	実験動物学の基礎①	動物実験の目的、意義、歴史などについて理解する		
2	実験動物学の基礎②	実験動物の関係法規などについて理解する		
3	実験動物学の基礎③	動物種、品種、系統の概念などについて理解する		
4	実験動物学の基礎④	実験動物の基本的な取り扱いなどについて理解する		
5	実験動物学の基礎⑤	①代表的な実験動物の特性と飼育管理、繁殖を理解する		
6	実験動物学の基礎⑥	②代表的な実験動物の特性と飼育管理、繁殖を理解する		
7	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル①	遺伝的制御について理解する（近交系、クローズドコロニー、交雑群など）①		
8	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル②	遺伝的制御について理解する（近交系、クローズドコロニー、交雑群など）②		
9	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル③	微生物学的制御について理解する（無菌動物、ノトバイオオート、SPFなど）①		
10	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	微生物学的制御について理解する（無菌動物、ノトバイオオート、SPFなど）②		
11	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	環境制御について理解する		
12	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	疾患モデル動物について理解する		
13	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	動物実験の代替法を理解する		

回	テ ー マ	内 容		
14	まとめ①	確認問題と解説 全体の内容を理解できているか自己確認を行う		
15	まとめ②	確認問題と解説 全体の内容を理解できているか自己確認を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験動物学 ・ 最新実験動物 ・ 応用動物看護学（インターズー） 		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物福祉・倫理		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	清水 宗春
授業の概要				
動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。獣医療、動物愛護、動物福祉、社会奉仕などの分野に動物看護師として貢献するうえで必要な基本理念としての動物福祉の考え方を学ぶ。				
授業終了後の到達目標				
動物生命倫理の基本概念について理解できる 動物福祉の定義とその理論的基盤について理解できる 動物福祉向上の実践と社会との関わりに関する基本知識を理解できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		横浜市役所栄生福祉局 東京都福祉保健局(動物管理事務局) 帝京大学アニマルサイエンス大学獣医学科 非常勤講師 日本獣医生命大学獣医学科 非常勤講師 石川県保健所動物管理センター業務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	動物観の歴史的変遷	国や宗教による動物観の違いと動物の取り扱いへの影響について理解する		
2	生命倫理の概念	生命倫理の考え方、生命倫理と獣医療の関わりについて理解する		
3	動物福祉の概念①	動物福祉の考え方、5つの自由(five freedom)について学ぶ		
4	動物福祉の概念②	近代及び現代の動物愛護運動、日本における動物愛護と世界における動物福祉について理解する		
5	動物福祉の概念③	動物の権利と動物福祉思想、動物福祉に関する法と行政の仕組みの概要を学ぶ		
6	伴侶動物の福祉①	伴侶動物の適正飼育と福祉的問題、動物保護活動の現状と課題について理解する		
7	伴侶動物の福祉②	飼育放棄や殺処分問題、動物虐待の定義と現状、それぞれの対策について理解する		
8	伴侶動物の福祉③	飼育動物の災害時の対応について学ぶ		
9	伴侶動物の福祉④ グループワーク	野外に行く飼育猫の福祉を項目ごとに評価し、各々の動物福祉の考えを聴き、自分の考えを伝える		
10	学校飼育動物の福祉	動物福祉教育の意義、学校飼育動物に対して行うべき福祉的なこととは何かを理解する		
11	産業動物の福祉	産業動物における福祉的問題、国際的な福祉基準、福祉を向上させるための具体的方法について学ぶ		
12	実験動物の福祉①	実験動物における福祉的問題、3Rの概念と具体的方法について学ぶ		

回	テ ー マ	学修内容		
13	実験動物の福祉②	国内外における動物実験の現状、身近に関係する動物実験について調べレポートを作成する		
14	展示動物及び使役動物の福祉	展示動物・使役動物の福祉的問題、展示動物に対する環境エンリッチメントの種類と内容について学ぶ		
15	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
動物福祉学(インターズー) 獣医倫理・福祉学(緑書房) 動物看護コアテキスト1(ファームプレス)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
統一試験対策		イオンペット社員養成学科 動物看護コース/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	60回	60単位時間	必須	久木 悠愛
授業の概要				
「動物看護師統一認定試験」とは動物看護師の知識・技術の高位平準化を図るとともに、将来的な公的資格制度に繋げる目的で設立された、現在最も標準的な動物看護師資格となっている。この授業では過去問や予想問題を解き、形態学などの基礎知識から疾患学などの応用知識を総合的に修得し、出題傾向の把握と設問に対する理解力、適切な解答を導くための知識を修得する。				
授業終了時の到達目標				
時間配分や点数目標を立てながら学習し、自己学習を継続することができる 苦手分野を把握し、弱点強化をすることができる 模擬試験を行うことで、本番への対応力が身に付く				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
週	テーマ		内容	
1	動物看護師統一認定試験の概要理解 基礎動物看護学Ⅰ 一般問題①		動物看護師統一認定試験の設立経緯、試験時期、試験構成、試験分野の説明を行い、試験概要を理解する。 形態機能学・病理学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
2	基礎動物看護学Ⅰ 一般問題②		薬理学、動物遺伝学、動物行動学、放射線学、免疫学、微生物学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
3	基礎動物看護学Ⅰ 一般問題④ 理解度確認問題		寄生虫学、公衆衛生学、毒性学、繁殖学、野生動物学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する 基礎動物看護学Ⅰの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
4	基礎動物看護学Ⅰ 復習 基礎動物看護学Ⅱ 一般問題①		基礎動物看護学Ⅰ理解度確認問題の復習を行う 動物看護の基礎概念・職業倫理、動物福祉・関連法規の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
5	基礎動物看護学Ⅱ 一般問題② 一般問題③		動物看護の展開、共通の基礎看護技術、診療に伴う動物看護技術の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
6	基礎動物看護学Ⅱ 理解度確認問題 復習		基礎動物看護学Ⅱの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
7	基礎動物看護学Ⅰ・Ⅱ 実地問題① 実地問題②		基礎動物看護学Ⅰ・Ⅱの実地問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
8	応用動物看護学Ⅰ 一般問題① 一般問題②		受付業務から動物栄養学、救命救急時の動物看護からシニアの看護までの一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	
9	応用動物看護学Ⅰ 理解度確認問題 復習		応用動物看護学Ⅰの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う	
10	応用動物看護学Ⅱ 一般問題① 一般問題②		内科系疾患から呼吸器疾患、脳・神経疾患から耳鼻咽喉疾患までの一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する	

週	テーマ	内容		
11	応用動物看護学Ⅱ 理解度確認問題 復習	応用動物看護学Ⅱの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う		
12	応用動物看護学Ⅰ・Ⅱ 実地問題① 実地問題②	応用動物看護学Ⅰ・Ⅱの実地問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
13	過去問題模擬試験① 一般問題・実地問題	2016年度過去問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握する（一般問題、実地問題）		
14	模擬試験復習	2016年度過去問題の復習を行う		
15	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
16	過去問題模擬試験② 一般問題・実地問題	2017年度過去問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握する（一般問題、実地問題）		
17	模擬試験復習	2017年度過去問題の復習を行う		
18	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
20	模擬試験復習	2018年度過去問題の復習を行う		
21	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
22	過去問題模擬試験④ 一般問題・実地問題	2019年度過去問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握する（一般問題、実地問題）		
23	模擬試験復習	2019年度過去問題の復習を行う		
24	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
25	計算問題対策①	計算を含む問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
26	計算問題対策② 理解度確認問題 復習	計算を含む問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う		
27	弱点対策①	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うことによって正解率をあげる		
28	弱点対策②	苦手分野の問題を試験形式で解き、復習を行う		
29	弱点対策③	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うことによって正解率をあげる 苦手分野の問題を試験形式で解き、復習を行う		
30	弱点対策④	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うことによって正解率をあげる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
完全対策問題集(インターズー) 完全攻略!問題&解説集(緑書房)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	

※1週2回（2単位時間）